

教 生 学 第 8 2 2 号
令和2年(2020年)1月7日

各 教 育 局 長
各 道 立 学 校 長 様
各市町村教育委員会教育長
(各市町村立学校長)

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課長 田 中 賢 一
北海道教育庁学校教育局健康・体育課長 藤 田 善 治

令和2年度非行防止教室等の実施について(通知)

このことについて、北海道警察本部生活安全部少年課長から、別添写しのとおり依頼がありましたので通知します。

これまで、各学校においては、警察をはじめとする関係機関と連携した取組が行われているところですが、道内における少年非行等の情勢は、検挙・補導された非行少年は減少傾向にあるものの、強盗、放火等の凶悪事件や特殊詐欺への加担などにより検挙されているほか、児童生徒が被害者となる児童ポルノや児童買春事件等が後を絶たず、極めて憂慮すべき状況です。

こうしたことから、児童生徒の規範意識を醸成するとともに、児童生徒を犯罪被害から守る取組や命を大切にすることを育む教育を充実させることが重要です。

つきましては、北海道警察が実施する非行防止教室、薬物乱用防止教室及び命の大切さを学ぶ教室を活用するなどして、児童生徒の健全育成に向けた取組の推進をお願いします。

なお、校内放送方式による非行防止教室等についても、短時間で繰り返し実施することができ、昼休みの時間帯等を活用した実施であることから、各学校の実情に応じて、警察等と連携した非行防止教室等を実施するようお願いします。

〔生徒指導・学校安全グループ〕
〔学校保健・体育グループ〕



道本少（非）第257号
令和元年12月27日

北海道教育庁
学校教育局生徒指導・学校安全課長 殿

北海道警察本部少年課長

令和2年度非行防止教室等の実施について（依頼）

寒冷の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素より、少年の非行防止対策を始め、道警察の業務運営に対して深い御理解と御協力を賜り、心から御礼を申し上げます。

さて、道内における少年非行の情勢は、検挙・補導された非行少年は減少傾向にありますが、その一方で、少年による殺人、強盗、放火等の凶悪事件のほか、特殊詐欺の犯行に加担して検挙されるなど、依然として憂慮すべき状況にあります。

また、道内におけるSNSの利用に起因する児童買春や児童ポルノを始めとする子供の性被害が大幅に増加しており、本年10月末現在で117人と、昨年1年間の被害者数をを既に上回る深刻な状況にあります。

こうした情勢を踏まえ、道警察におきましては、令和2年度においても、別添「令和2年度非行防止教室等の実施要領」に基づき、学校や教育委員会と連携の上、実施してまいりたいと考えております。

特に、令和2年度は、昨今の少年を取り巻く環境を考慮し、非行防止教室の重点を、①子供の犯罪被害・性被害防止、②少年の特殊詐欺への関与の防止、薬物乱用防止教室の重点を、①大麻の乱用防止、②飲酒・喫煙の防止とし、このほか、学校や地域の実情に応じたテーマにも目を向け実施したいと考えております。

つきましては、本取組の趣旨を御理解いただき、貴職から各市町村教育委員会及び関係各道立学校への御連絡をお願い申し上げます。

また、校内放送方式による非行防止教室等は、短時間で繰り返し実施することで高い教養効果が得られるほか、昼休みの時間帯を利用するなどして随時実施することができることから、道警察といたしましては、内容を充実させ、一層の推進を図ってまいりたいと考えておりますので、特段の御配慮を重ねてお願い申し上げます。

（少年課非行対策係 251-0110内線3078）

1 目的

(1) 非行防止教室

少年の健全育成を基本理念として、少年の規範意識の向上及び犯罪被害防止を目的として実施します。

(2) 薬物乱用防止教室

少年の非行防止対策の一環として、少年の薬物乱用の根絶に向けた規範意識を醸成することを目的として実施します。

(3) 命の大切さを学ぶ教室

犯罪被害者・遺族の講話や警察官の講話を通して被害を受けた方々の心の痛みや被害者支援の必要性を認識することにより、犯罪被害者等への理解の促進、社会全体で犯罪被害者等を支えていく気運や規範意識を醸成することを目的として実施します。

2 対象者

小学校、中学校及び高等学校の児童生徒を対象とします。

ただし、命の大切さを学ぶ教室は、中学校以上の生徒を対象とします。

3 実施方法

(1) 講話方式

小学校、中学校及び高等学校における全校、学年単位、学級単位の児童生徒を対象として、集会又は授業において、講師による講話形式で行います。

(2) ティームティーチング方式

小学校、中学校及び高等学校における学級単位の児童生徒を対象として、警察職員が授業支援者となり、学級担任等の教員と協力して授業を行います。

(3) 校内放送方式

小学校及び中学校における全校の児童生徒を対象として、警察職員の映像又は音声を繰り返し校内で放映します。

(4) 犯罪被害者・遺族の講演会形式によるもの（注：命の大切さを学ぶ教室のみ）

中学校及び高等学校における全校、学年単位の生徒を対象として、犯罪被害者・遺族（下記一覧参照）が集会または授業において45～70分程度（時間調整も可）の講演を行います。

【命の大切さを学ぶ教室 講師】

死亡交通事故被害者遺族	6人
殺人事件被害者遺族	2人

4 重点

(1) 非行防止教室

ア 子供の犯罪被害・性被害防止

スマートフォン等が急速に児童生徒に普及していることに伴い、SNS等の利用に起因する誘拐等の犯罪被害や児童買春、児童ポルノ等の性被害が後を絶たないことから、子供の犯罪被害・性被害防止のための注意喚起を図ります。

イ 少年の特殊詐欺への関与の防止

特殊詐欺に加担した少年の検挙人員は全国的に増加傾向にあり、道内においても検挙される事案が発生していることから、少年の特殊詐欺への関与の防止に向けた意識向上を図ります。

(2) 薬物乱用防止教室

ア 大麻の乱用防止

道内において、平成30年度は大麻事犯の検挙人員が過去最多となり、令和元年度においても高水準で少年の検挙人員が増加しています。

大麻の有害性について正しい理解促進を図ります。

イ 飲酒・喫煙の防止

令和元年上半期の道内における不良行為少年の補導人員のうち、飲酒及び喫煙は全体の約40パーセントを占めています。

未成年者の飲酒、喫煙が人体に与える悪影響を正しく認識させることを狙いとします。

(3) 命の大切さを学ぶ教室

道内においては、少年による粗暴犯のほか、いじめ相談の認知件数が増加傾向にあるため、犯罪被害者の心の痛みや命の大切さを認識させ、相手を思いやる心の醸成を図ります。

(4) 地域の実情に応じた重点

上記のほか、管内における犯罪の発生状況や学校内で問題となっている事案等を題材に非行防止教室を実施します。

5 申込要領

(1) 非行防止教室・薬物乱用防止教室

ア 非行防止教室又は薬物乱用防止教室の開催を希望する学校は、学校所在地を管轄する警察署の少年担当係に別記様式「非行防止教室等申込書」を送付願います。

イ 「非行防止教室等申込書」は、令和2年2月28日（金）までに送付願います。

ウ 上記の送付以降、非行防止教室又は薬物乱用防止教室の開催を希望する場合には、希望日のおおむね1か月前までに「非行防止教室等申込書」を送付願います。

エ 校内放送方式による非行防止教室又は薬物乱用防止教室を希望する学校は、随時最寄りの警察署の生活安全課にご相談ください。

(2) 命の大切さを学ぶ教室

開催を希望される場合は、上記(1)のAのとおり、学校所在地を管轄する警察署の少年担当係に別記様式「非行防止教室等申込書」を送付願います。

また、犯罪被害者・遺族の講話の実施期間は、令和2年5月7日（木）から令和3年1月29日（金）までで、お受けできる学校には上限があり、先着順にお受けしますのでご了承ください。

6 申込後の事務手続き

(1) 各警察署において日程を調整の上、警察署担当係から各学校に連絡します。

(2) 実施を希望する学校が重複した場合等は、調整させていただくことがありますのでご了承ください。

非行防止教室等申込書

① 学校名	
② 住所	
③ 担当者	氏名 _____ TEL (_____) _____
④ 実施日時	令和 年 月 日 時 分 から 時 分 まで
⑤ 実施方式	<input type="checkbox"/> 講話方式 <input type="checkbox"/> IT方式 <input type="checkbox"/> 校内放送方式 (複数記入可)
⑥ 対象生徒	<input type="checkbox"/> 第[]学年 計[]人 <input type="checkbox"/> 全校一斉 計[]人
⑦ 希望内容 <small>□欄に チェックを 入れてください</small>	<input type="checkbox"/> 非行防止教室 <input type="checkbox"/> 子供の犯罪被害・性被害防止 <input type="checkbox"/> 少年の特殊詐欺への関与の防止 <input type="checkbox"/> 薬物乱用防止教室 <input type="checkbox"/> 大麻の乱用防止 <input type="checkbox"/> 飲酒・喫煙の防止 <input type="checkbox"/> 命の大切さを学ぶ教室 <input type="checkbox"/> 犯罪被害者・遺族の講演会形式によるもの <input type="checkbox"/> 警察職員の講話方式によるもの <input type="checkbox"/> その他 <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
⑧ 備考	(非行防止教室等に関し、ご要望等ありましたら、自由に記載してください)